

『聞こえ』のフレイル 加齢性難聴

参考：滋賀県HP

65歳を超えると、聞こえづらさを感じる人が一気に増え、75歳以上の約半数が、聞こえづらさを感じていると言われています。

加齢性難聴は徐々に進行します。このため、**聴力の低下に本人が気づかず、家族など周りの人からの指摘が適切なサポートや受診への第一歩**となることもあります。

聞こえづらさが進むと、生活する上で以下のような支障が起こる可能性があります。

- ・必要な音が聞こえず、危険を察知する能力が低下する。
- ・家族や友人とのコミュニケーションが上手くいかなくなる。
- ・社会的に孤立し、うつ状態に陥る。

このような状態が続くと、**認知機能に影響**をもたらす可能性もあると言われています。気になったら早めに**耳鼻科医師**に相談しましょう。



【聞こえのチェックリスト】



- 会話をしているとき、聞き返すことがよくありますか？
- 相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがありますか？
- 電子レンジの「チン」という音やドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがありますか？
- 家族に「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われますか？
- 大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいつと感じますか？

一つでも当てはまる方、ご自身の「聞こえ」が気になる方は、耳鼻科医師（補聴器相談医）への相談をおすすめします！

